

教区通信 ふくおか

2023(令和5)年7月1日発行

Vol.140

発行

「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

—From tying bonds to great encounters—



▲佛教婦人会連盟「第十七回世界佛教婦人会大会」参拝団（5月10日～12日・京都）

P4～5 戦後78年戦争犠牲者追悼法要

- P2 阿弥陀さまに生かされて
～第17回世界佛教婦人会大会～
- P3 重点プロジェクトリーダー研修会

- P6 佛教壯年会連盟について
- P7 法話「愚者になりて往生す」
- P8 行事予定・編集後記

阿弥陀さまに生かされて

第十七回世界仏教婦人会大会

福岡教区仏教婦人会連盟委員長
熊野多美子（東筑組 西徳寺）

五月十日より十二日にかけて、福岡教区仏教婦人会連盟では本山本願寺での「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讚法要」と、慶讚法要を記念しての「第十七回世界仏教婦人会大会」に約一〇〇名での団体参拝を実施いたしました。

翌十一日には「慶讚法要」（午前の部）へのお参りでした。幼いころから耳にし、口に称えてきた「南無阿弥陀仏」の六字のお念佛の重さや有難さをひしひしと感じていたなか、御影堂で多くの方々とともに称えるお念佛には大変胸を打たれました。このような有り難いご縁に遇うことができましたのも、親鸞聖人はもとより私にお念佛の教えをつないでくれた父や母、有縁の方々のおかげであるということをあらためて味わせていただきました。

その後、世界大会会場の京都国際会館へ向かいました。今回の世界大会は日本で開催され、会場には国内外から多くの方が参加されました。会場ではワークショップをはじめ、さまざまな催しも行われ、十

二日にかけて楽しい時間が過ぎてゆきました。また、世界大会にあわせて長らく行わってきた桑湾（米国サンフランシスコ周辺）・北豊・福岡の三教区の仏教婦人会連盟の交流会は、桑湾教区での世代交代などもあり残念ではありますが、今回を以て最後となりました。

この度の法要と大会というご勝縁を通して、浄土真宗のみ教えの世界への広まりというものを肌で感じたことでした。法要スローガンの『ご縁を慶び、お念佛とともに』という言葉を心から味わうご縁がありました。今回の大会運営やこれまでの桑湾・北豊・福岡の仏教婦人会連盟交流会に携わった方々には心よりお礼申しあげますとともに、これからもお念佛申す日暮らしを送つてまいりたいと思います。

南無阿弥陀仏



主な行程

- 5/10 (水) 青蓮院・將軍塚青龍殿拝観
- 5/11 (木) 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年
慶讚法要参拝（本山）
世界仏教婦人会大会（京都国際会館）
ウェルカムイベント・ワークショップ
桑湾・北豊・福岡教区仏婦交流会
- 5/12 (金) 世界仏教婦人会大会（京都国際会館）

第二回 教区・特区 重点プロジェクトリーダー研修会

福岡教区重点プロジェクトリーダー 副田 正士
(宗像組 浄徳寺)

二〇二二（令和四）年度 第二回 教区・特区重点プロジェクトリーダー研修会が三月十三日にオンラインにて開催されました。

教区重点プロジェクトリーダーとは、各教区・特区において実践目標を推進する役職として設置されています。また、リーダーを対象に一年に二回の研修会が開催されています。

今回の研修会では、講師にSDGsおてらネットワーク代表の西永亜紀子さんの「SDGsについて」の講義、「SDGsと仏教の親和性」として講師と総合研究所副所長である寺本知正さんとの対談が行われました。

西永さんは、現在、築地本願寺に勤務され、自身の女性僧侶、坊守としての経験からジエンダーギヤツプに違和感を覚えていた中、築地本願寺で行われたSDGsシンポジウムなどがご縁で二〇一八年に有志の方々と「SDGsおてらネットワーク」を立ちあげられ、仏教者としてSDGsを積極的に活動されています。

現在、築地本願寺でSDGsプロジェクトして晨朝後の朝活テンプルモーニング、SDGsカードを使った研修会の開催などをされています。

講義、対談の中でSDGsに取り組むことは、仏教とくに浄土真宗の教えにそぐわないのではないかという指摘をよくうけるとのことでした。社会貢献的な活動をすることが、我々は凡夫である以上、

しかし、あくまでもSDGsは社会貢献への一つのツールであつて、それを他力の信仰として同軸で語ることはできないとし、SDGsの原則理念である「誰一人取り残さない」

は、仏教が説く平等性と親和性があり、そこに仏教者としてSDGsに取り組む意義があるとのことでした。

今回の研修を通して、現在の実践目標である「貧困の克服」は、そこに取り組む意義が自分の中では明確となりました。

▶ 青蓮院



▲ 慶讃法要

公聴会のご案内

7月25日(火)13時からの福岡教堂での開催のほか、7月末日までインターネットにて動画配信・意見聴取を実施中。
参加・ご視聴希望やお問い合わせは福岡教区教務所まで。

戦後七十八年戦争犠牲者追悼法要

～非戦・平和を願うつどい～

非戦・平和部長 丸隈 晃淳（怡土組 妙正寺）

二〇二三（令和五）年六月二〇日、本願寺福岡教堂にて戦後七十八年戦争犠牲者追悼法要～非戦・平和を願うつどい～を厳修いたしました。新型コロナウイルス感染症の流行により、これまで中止やオンライン配信限定、人数の制限など規模を縮小しておりましたが、今年はオンライン配信を併用しつつ、一切の制限を撤廃し、多くの皆さまにご参拝いただきました。

冒頭の非戦・平和部長挨拶に続き、高原眞見福岡教区教務所長の御導師のもと、「阿弥陀経作法 第二種」にて追悼法要をおつとめいたしました。昨年は内陣出勤者を各ブロック代表者に限定しておりましたが、今年は福岡教区二〇組より御出勤いただき、会場・オンラインも含め教区一体となつてのご縁でございました。法要に続きまして記念講演が行われました。この度のご講師には本願寺派総合研究所所長の満井秀城さんにお越しいただき、「兵我無用



しかし、それは不安な中にある生き方であり、とても愚かなことであるということ、自分に都合のいい色眼鏡で見ていること、比べて生きていること、比べて生きていること、加害者になると何よりも黙認するということは、加害者になると

いうことを強く話されました。国が改憲の動きを見せたなら、改憲に反対だとはつきりと言つていかなくては、声なき声をかき消される日が、もう目前にまで迫つてきていると感じました。





法要の模様はYouTubeにアップいたしました。



最後には「現実は変えていかない」というメッセージもいただき、戦争を経験した先人の方々が伝えてくださった、あの戦争はなんだつたのか、平和とは何か、いのちとは何か、深く考えていく事が、私たち戦争を知らない者の役目であるかと思います。講演のあとで閉会式では、今年も「非戦・平和を願う念佛者の燈炬」（ともしび）として『教行信証』と『法句經』のご文、『無量寿經』の「兵戈無用」のご文を唱和しました。

今回の法要も、非戦平和に向けた歩みと、共に学ぶ有難いご縁とさせていただき、これから先の平和構築に繋がる講演会となりました。ひとりでも多くの方が再び戦争へと走り出さない為に、現代日本の現実を変えていかなくてはならないと強く感じた事でもありました。

非戦・平和を願う念佛者の燈炬（ともしび）

み教えに生きる人々へ心から願うことはすべての御同行（おどうぎょう）たちがただ佛さまの言葉を信じ
わが身もわが命もかけてうたがうことなく佛さまのお説法にもとづいて
佛さまが捨てよと仰せになるものを捨て
佛さまが行ぜよと仰せになるものを行じ
佛さまが近づいてはならないと仰せになるものに近づかないことである。
これを佛教の教えにしたがい
釈尊のお意（こころ）にしたがうといいます。
これを阿弥陀佛の願いにしたがうといいます。
このような人を真（まこと）の仏弟子というります。

『顯淨土真実教行証文類 信卷』より意訳

兵 戈 無 用（ひょうがむよう）

すべての者は暴力におびえ
すべての者は死を恐れる
わが身にひきくらべて
殺してはならぬ殺さしめてはならぬ

『仏説無量寿經』

『法句經』

教化団体の取り組み紹介

福岡教区

仏教壯年会連盟について

福岡教区仏教壯年会連盟理事長 太田 喜之（早良組徳常寺）

浄土真宗本願寺派の仏教壯年会（仏壯）連盟として、福岡教区は現在四一〇カ寺のうち二五六単位の仏壯が連盟に登録されて活動しています。浄土真宗の門徒が熱心な九州、特に福岡ではむしろ「結成しているのがまだ半分ちよいか、少なかなあ、もう少し頑張らんとなあ」と、皆さんお思いかもしませんが、全国規模で見ますと、結成率六二・四%は断然ナンバーワン（二位は鹿児島の五二%）、単位数自体も福岡は一位で、二位の兵庫でも二三二単位、続いて山口二一九単位、広島一九四単位、と、寺院数多く浄土真宗が盛んな土地と印象ある所でも福岡には及ばない、野球選手のオオタニさん顔負けの堂々二冠なのです。



前置きが長くなりましたが、そのくらい福岡教区は門徒さんの熱心さと、各寺院の仏壯へのご理解ご協力が厚く、早くから仏壯結成が盛んになってきた経緯がありました。その中の二〇組より教区連盟理事として参集した理事会（年三～四回開催）が、決定機関である総会開催や研修会・行事、各種法要への参加奨励な

過去の研修の模様はYouTubeに掲載中（一部）。

単位会の結成についてのご相談は教務所の担当職員まで。

浄土真宗本願寺派仏教壯年会連盟（全国）

公式サイトはこちら↓

<http://www.hongwanjibussou.jp/>

どを執行しています。
研修会の大きな目玉は、各組を巡回しての「寺院仏壯結成に向けた研修会」（今年は九月一日に夜須組光照寺に講師をお招きしての研修）と「実践運動研修会」（今年は六月十一日に終了）です。

行事も大きなイベントとして、先日行なわれた親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要にあわせた全国大会（今年は四月に京都本山、次回二〇二六年は岐阜）、九州大会（前回二〇二三年は熊本、次回二〇二五年は鹿児島）、共に三年に一度の開催行事として取り組んでいます。



法
一
言
話

「愚者になりて往生す」

倉田 明恵（宗像組 雲乗寺）

自力聖道の菩提心 こころもことばもおよばれず
常没流転の凡愚は いかでか発起せしむべき

正像末和讃

（『註釈版聖典』六〇三頁）

自力聖道の菩提心（仏になりたい心）は、心にも言葉にもあらわせない程素晴らしい。迷い続ける愚かな凡夫に起こせるはずもない。

「こんなのが出てきたけどどうする？」と、実家で兄がテーブルの上に置いたのは、表に法名と書かれた、黄ばんで、しみだらけのヨレヨレのたとう紙、中には三つ折りの紙に達筆で、「明恵」と、書いてあります。私が二十歳の時に得度をした時にいただいた法名でした。祖父の往生をご縁に得度をしましたが、父の法名に明の字が入っていたので、それを真似て、私は恵の名前の前に明の字を付けて明恵（みょうえ）と、しました。

親鸞聖人のお師匠の法然聖人の著された『選択集（せんじや

くしゅう）』を、読まれて、大激怒され、『摧邪倫（ざいじやりん）』を書かれた明恵上人（華厳宗の偉いお坊様）と同じお名前だとは、仏教に無関心、ネットもない時代の私は知るよしもなかつたのです。お念佛一行のみ。そんなのは、仏教ではない、と、仏になる為に厳しい修行（自力聖道）をしてこられた当時のお坊様方を激しく怒らせました。自力聖道門の立派すぎる僧侶の名前を、無知な私は付けてしまつていたのです。

仏教は学べば学ぶ程、私の愚かさに気づかされます。仏様からみた愚かさ、罪の重さで、迷いの世界に沈み続いていることさえ知らない私なのです。

親鸞聖人は、浄土真宗は仏教であると、『教行信証』でお示しくださいました。阿弥陀様は、菩提心すらない愚かな私だからこそ、この私を目當てに南無阿弥陀仏の名となり、そのまますくう、われにまかせよと、私により続けはたらき続けてくださっています。変えたいときえ思つていた私の法名は、私の愚かさを知らせ、阿弥陀さまのお慈悲を喜ぶ大切なご縁となりました。

南無阿弥陀仏

福岡教区教務所の行事案内

2023（令和5）年7月

7月25日（火）13:00 公聴会

2023（令和5）年8月

8月 8日（火）12:00 閉堂

8月 9日（水）～17日（木）夏季休暇

※8月の鑽仰講座は休座です

8月30日（水） 布教大会（福岡組淨満寺・福岡市中央区）

2023（令和5）年9月

9月14日（木）13:30 親鸞聖人鑽仰講座（LIVE配信あり）
～15日（金）

9月18日（月） 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要（東京）

2023（令和5）年10月

10月 5日（木） 青年布教使布教大会（那珂組淨運寺・春日市）
10月14日（土）13:30 親鸞聖人鑽仰講座（LIVE配信あり）
～15日（日）

新職員 の紹介

4月1日付、新たに2名の職員が福岡教区教務所・本願寺福岡教堂配属となりました。
どうぞよろしくお願ひいたします。



原 由燈
(福岡教区 嘉麻組 光隆寺) 佐竹 一心
(福岡教区 遠賀組 恩光寺)

ホームページ・SNSもどうぞご覧ください

ホームページ→



You
Tube→



LINE→
(ID:100xlzmt)



Twitter→
(@f_hongwanji)



編集
後記

お盆が近づくにつれ、福岡城跡舞鶴公園のお堀の蓮の華が見ごろとなります。佛教と、とても縁の深い蓮。その清らかな華を見て、蓮のことを調べてはいかがでしょうか。蓮が大事にされている理由がわかるかもしれませんよ。

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 高原 真見
〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2
電話:092(771)9081